

NEWS RELEASE



平成 24 年 9 月

第 35 回日本高血圧学会総会研究発表

「鰹節由来降圧ペプチドの単離精製とその評価」

ヤマキ株式会社（本社：愛媛県伊予市 代表取締役社長：城戸善浩）は、鰹節屋・だし屋として、鰹節の「おいしさ」と「健康」を追求するための研究を行っております。

平成 24 年 9 月 20 日～22 日愛知県名古屋市でおこなわれた第 35 回日本高血圧学会総会において、下記の通り研究発表いたしました。

記

■研究発表概要

演題名：鰹節由来降圧ペプチドの単離精製とその評価

発表者：関英治（ヤマキ株式会社）

発表日：9 月 20 日（木） 午後 12:40～13:05

■研究内容の概要

当社は、高血圧予防啓発のための活動である「減塩プロジェクト：NPO 法人日本高血圧協会」に賛同し、減塩食の提案を行う一方で、特定保健用食品（消費者庁許可制度）基準に合致する高血圧予防特定保健用食品の開発も行っていきます。

前回の研究発表において、鰹節熱水抽出残渣から酵素分解、疎水性樹脂脱着後、限外ろ過（分子量 1000）透過画分に、強力な降圧ペプチド（KBP）が得られることを発表いたしました。一般的にペプチド分析に関しては煩雑であり、数回のカラム操作が必要であることから、規格化し、品質分析するまでに時間を要していました。今回の研究では、ペプチドの簡易定量方法を確立し、さらに新たなペプチドを単離することを目的としています。

実験方法として、得られた各ペプチドのアミノ酸配列は N 末端アミノ酸配列解析装置で決定し、ACE（アンジオテンシン I 変換酵素）阻害活性の測定は Cushman の変法を用いました。

その結果、新たに高活性なペプチド 5 種類を、一回の液体クロマトグラフィー操作で単離し、同定と定量する方法を確立しました。このことから、降圧ペプチド（KBP）の中の単離した ACE（アンジオテンシン I 変換酵素）阻害ペプチドが簡易定量でき、降圧ペプチド（KBP）を用いた高血圧予防食品の構築ができると判断いたしました。

【日本高血圧学会 概要】

日本高血圧学会は、高血圧を中心とする研究、啓蒙活動、学術集会の開催、ガイドライン策定、特別正会員(FJSH)育成等を通じて、国民の健康増進を図る特定非営利活動法人です。

運 営：特定非営利活動法人 日本高血圧学会事務局

所在地：東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館 2 階

T E L：03-6801-9786 FAX：03-6801-9787

理事長：島田 和幸

設 立：1978 年 4 月

U R L：<http://www.jpnsnsh.org/>

【ヤマキ株式会社 概要】

会社名：ヤマキ株式会社

住 所：愛媛県伊予市小湊 1698-6

代表取締役社長：城戸善浩

設 立：大正 6 年 4 月

U R L：<http://www.yamaki.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

ヤマキ PR 事務局(アンティル内) 担当：荻谷/森脇/鄭(てい)

TEL:03-5572-6061 FAX:03-5572-6065 MAIL:yamaki@vectorinc.co.jp